

埼玉県

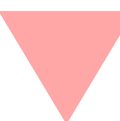
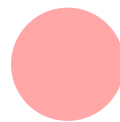
平成27年度事業報告書



N P O 基金



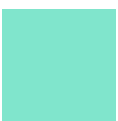
ニユース



共助社会づくり支援事業 / N P O 活動サポート事業（分野指定・ネーミング）

N P O 元気なまちづくり助成事業 / 「プロジェクト×共助」支援事業 / みんなでサポート事業

中核的 N P O 法人育成事業 / 地域の共助社会づくりの担い手支援事業



埼玉県



Kobaton



感謝状贈呈式

NPO基金へ多大な寄附を頂いた皆様への

感謝状贈呈式を開催しました。 ※開催日順



キリンビールマーケティング株式会社 埼玉支社 様

KIRIN

同社の「埼玉県産農産物サポート店で地産地消を応援しよう！キャンペーン※」により御寄附いただきました。

※キャンペーン期間の埼玉県産農産物サポート店での対象商品売上げ
1Lにつき30円を埼玉県NPO基金へ御寄附

NPOが取り組む「地産地消・食育」活動に役立たせていただきます。

株式会社小山本家酒造 様



創業文化五年(1808年)
株式会社 小山本家酒造

埼玉県内限定販売の清酒「金紋世界鷹（きんもんせいかいたか）」をはじめとする同社商品の売上げの一部を御寄附いただきました。

※「金紋世界鷹」は720ml瓶、1800ml瓶の売上1本につき10円を御寄附、
「金紋世界鷹」以外の商品は、1800ml瓶の売上1本につき2円を御寄附

NPOが取り組む「みどりと川の再生」など環境保全活動に役立たせていただきます。



有限会社菊水堂 様



ヒット商品「できたてポテトチップ」のチャリティ販売及び「ヤフーオークション」による販売の売上げの全額と、生産量の少ない品種を用いた希少価値の高いポテトチップの抽選販売による売上げの全額を御寄附いただきました。

農業を通じた障がい者の就労・就農支援「農福連携」に取り組む県内NPOの支援に活用させていただきます。

埼玉県遊技業協同組合 様

NPO活動の推進のために、広く活用させていただきます。



株式会社富士薬品 様

花王株式会社の環境配慮への取組「花王いっしょにeco（エコ）キャンペーン」に賛同し、ドラッグストア「セイムス」等の県内店舗における同キャンペーン対象製品の売上げの一部を御寄附いただきました。

NPOが取り組む「環境保全」活動の支援に活用させていただきます。



富士薬品



一般財団法人
さいたま住宅検査センター 様

NPOが取り組む「まちづくり」活動の支援に活用させていただきます。



このほかひとつの団体様へ感謝状を贈呈しました。

平成27年度 寄附者 一覧

平成27年度の寄附合計額：6,957,446円

御支援ありがとうございました。

企業・団体等の皆様

浦和西ロータリークラブ
40周年実行委員会 様
守屋八潮建設株式会社 様
有限会社ノリス 様
大蔵屋商事株式会社 様
キンビールマーケティング株式会社
埼玉支社 様
埼玉県立小川高等学校 3年5組 様
有限会社菊水堂 様
一般社団法人埼玉県歯科医師会 様
東京キンビバレッジサービス
株式会社 様
国際ロータリー 第2770地区 様
一般社団法人埼玉県医師会 様
株式会社小山本家酒造 様

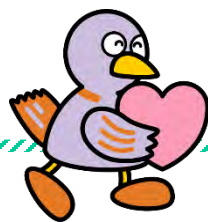
埼玉県遊技業協同組合 様
株式会社富士薬品 様
彩の国いきがい大学
伊奈学園第16期校友会 様
一般財団法人
さいたま住宅検査センター 様
国際ロータリー 第2570地区 様
公益社団法人全日本不動産協会
埼玉県本部 様

匿名希望 2企業・団体様
※寄附申込順

個人の皆様

河登 一郎 様
須田 沃 様
田島 和雄 様
田坂 英樹 様

匿名希望
14名様
※寄附申込順



NPO基金の募金箱に
寄附していただいた皆様、
ありがとうございました。

ごあいさつ

平成16年度の創設以来「埼玉県NPO基金」には、多くの皆様から御寄附をいただき、深く感謝申し上げます。

皆様の御厚志は、子育て支援やまちづくり、環境保全など様々な分野で課題解決に取り組むNPOの活動支援に活用させていただいております。

さて、団塊の世代の皆さんが75歳以上となる2025年(平成37年)には、本県の後期高齢者数は現在の1.5倍の118万人に達すると推計されています。これは全国一の増加スピードであり、医療・介護の需要も大幅に増加することが見込まれます。このような状況の中、共助社会づくりの重要性はますます高まっています。

そのため、県では共助社会づくりの中心的な役割を担うNPOの活動を引き続き支援してまいります。

この平成27年度事業報告書「埼玉県NPO基金ニュース」は、同基金を活用して実施した平成27年度事業の成果をまとめたものです。

この報告書を通じて、地域における様々な課題に積極的に取り組むNPO活動の一端を御理解いただければ幸いです。

今後とも、皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたします。



埼玉県知事 上田 清司

平成27年度 NPO基金事業実績

平成27年度にNPO基金を活用して行った事業実績です。各事業の採択団体からの事業報告書はホームページ「NPOコバトンびん」に公開しています。（※「NPOコバトンびん」については裏表紙を御覧ください）

共助社会づくり支援事業

NPO法人が市町村を含む3主体以上で連携し、地域課題を解決するために実施する取組に対して助成しました。

助成件数	助成金額合計
3件	2,742千円

... P4



NPO元気なまちづくり助成事業

地域で支え合う共助意識を高め、地域をより良くする「住民交流を目的としたまちづくり」のために、NPOが取り組む活動拠点の整備事業に対して助成しました。

... P5

NPO活動促進助成事業

NPO活動サポート事業

「分野希望寄附」を原資に、NPOの特性を生かしたアイデア・視点で実施する独自性や先駆性のある事業に対して助成しました。

... P6

	助成件数	助成金額合計
①分野指定枠	4件	1,942千円
②ネーミング事業	9件	4,457千円
計	13件	6,399千円



「プロジェクト×共助」支援事業

埼玉県3大プロジェクトのうち、埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの推進に寄与する事業に対して助成しました。

... P13

みんなでサポート事業

「団体希望寄附」を原資に、基金登録団体の日常の活動に対して助成しました。

助成件数	助成金額合計
17件	5,942千円

... P14

助成件数	助成金額合計
2件	545千円

地域の共助社会づくりの担い手支援事業

各地域振興センターにおいて、地域の共助社会づくりの一翼を担うNPOの運営力や広報力向上の為にセミナーや交流会等を開催しました。

事業費合計
545千円

... P18



中核的NPO法人育成事業

県内NPO法人の認定・仮認定・指定取得の促進のため、中間支援NPO法人が行うNPO支援事業に対し助成しました。

... P17

助成件数	助成金額合計
2件	2,000千円

共助社会づくり支援事業【市町村を含む3団体以上と連携】

「介護の日・世代間交流」

見て・聴いて楽しく体験・支え合いの輪づくりフェスタ
～地域の元気→あなたが主役～

連携先市町村 朝霞市
総事業費 1,023,711円
助成額 742（千円）

【認定・県指定】特定非営利活動法人メイあさかセンター（朝霞市）

【団体紹介】マレーシアとのかかわりを中心に「国際協力・交流事業」や高齢者ミニデイサービス、知的障害児・者との音楽療法で仲間作りを行う「福祉関係活動」を行っています。朝霞市を拠点に年齢や立場を超えた主体的な関わりでボランティア活動を約30年間、活動を重ねてきました。地道な活動が認定・埼玉県指定を得ることにつながりました。

【事業内容】世代間交流を主眼に「介護・介護予防」に関心を持って住民同士の互助の在り方を模索しようと試みました。実行委員会を立ち上げ、趣旨に共鳴してくれた方々が主体的に関わり、大きな協働の輪となりました。実行委員会は20回にも及び事業の成功に向けて40を超える機関や団体、個人が集結しました。9月に認知症サポーターリフレッシュ事業を行い、11月のフェスタは、朝霞市産業文化センターを全館貸切で実施しました。平日にもかかわらず、子供から高齢者まで、予想をはるかに超える多世代の方々が会場を訪れ、シンポジウムや体験コーナーなどに参加していただきました。幼稚園児の演奏や医師会等の協力で行われたミニ研修講座、ミニライブや嫁姑理解のしゃべり場など様々なプログラムを用意した結果、予想以上の数の終了証を発行することができました。

【今後の展開】今回の事業を通じて、「互助」を理解してくれた人が多くいたと感じています。認知症サポーター養成修了者の再学習や連携、自発的に拡大学習会へ参加を求めている方も多くいます。今後も朝霞市と連携を深めながら、添いながら生活者レベルで主体的に「互助」に位置づく学びと実践を続けて『高齢者の元気は地域の元気～地域の元気→あなたが主役～』で、住み良い環境づくりに「介護の日」行事を恒例にしたいです。



埼玉高速鉄道開通15周年プレ企画

「川口市鳩ヶ谷地区再発見」

特定非営利活動法人鳩ヶ谷協働研究所（川口市）

連携先市町村 川口市
総事業費 1,350,680円
助成額 1,000（千円）

【団体紹介】埼玉高速鉄道鳩ヶ谷駅舎全館と西口歩道の一部を活用して、市民講座やサークルなどを発表、地域商店が模擬店で盛り上げるイベント等を開催しています。「駅ナカ コミュニティサロン『鳩ヶ谷駅夜祭』」を通じて、地域住民にコミュニティの場を提供しています。

【事業内容】平成28年3月で埼玉高速鉄道開通15周年を迎え、東日本大震災から5年となります。震災から防災や人とのつながりについて学び、次世代に伝えていく必要性から地元の川口市立里中学校と連携・協働してエコ活動に取り組みました。川口市地球高温暖化防止活動推進センターの方を講師に招き、里中学校2年生を対象に総合的な学習の時間を利用し環境教育の授業を実施しました。さらに、生活科学部の生徒が地元発明家と里中学校OBの指導を受け、エコ発電のワークショップを行いました。学んだ成果を川口市主催「環境フォーラム」で生徒が発表するとともに、鳩ヶ谷駅にイルミネーションとして点灯し、地域を盛り上げました。

【今後の展開】地域の子供たちが様々な場で地域社会との繋がりを持つことで、社会性や自己肯定感を育成することが出来ます。これからも、埼玉高速鉄道や里中学校をはじめとする市内の中学校と連携・協働して、地域の活性化やまちづくりに貢献していきたいと考えています。



東日本大震災と原発事故災害に学ぶ「災害弱者」対策事業

連携先市町村 杉戸町・宮代町・幸手市
総事業費 1,413,068円
助成額 1,000（千円）

特定非営利活動法人 全国福島県人友の会（杉戸町）

【団体紹介】東京電力福島第一原発事故被災者を中心に、被災者が避難先や移住先で「日常」を取り戻せるように支援する活動を行っています。平成26年設立の、まだ歴史の浅い団体で次の活動に力を入れています。①地域社会の行事や集会に参加する。②埼玉県民と福島県民が、交流できる行事を開催する。③広報紙を発行して、情報の共有化

を図る。④「自助」から「共助」社会づくりを支援する。⑤1人1人の「復興」を長く継続する。⑥会員同士の親睦を深め、自己成長をはかる。

【事業内容】8月から1月までに合計15回（運営会議2回・住民交流会3回・インタビュー調査5回・被災地視察1回・講演会4回）のイベントが行われました。延べ347名の参加があり、当時支援に関わった行政・住民・ボランティア等の様々な立場から貴重なお話を聞くことができました。特に、行政の関わり方を知ることができ、パネルディスカッションやワールドカフェなどを通して情報共有と地域住民の交流を図ることができました。この取組を通して、提言書をまとめることができました。

【今後の展開】東京電力福島第一原発事故による富岡町民の杉戸町への避難実態を検証した成果は、大きく4点です。*富岡町と杉戸町との間で「友好都市協定」が締結されました。これは約20年間の日常的住民交流があったからこそ、大きな力が発揮されました。*避難所を避難者による自主的運営にして生活再建への姿勢を大切にしました。*避難先と避難元の行政同士のチームワークが、「現場力」となり、避難住民を支えました。*最大のポイントは、町長同士の信頼と決断であったと思います。



NPO元気なまちづくり助成事業

地域ボランティア活動の場の整備事業

総事業費 2,870,640円
助成額 2,000（千円）

特定非営利活動法人子育て家庭支援センター あいくる（入間市）

【団体紹介】平成16年設立。「お母さんの笑顔から子どもの幸せを」のテーマを基に子育て支援センターと職員が出向出張広場を市内7カ所で行っています。毎月の通信発行、助産師さんの相談日、絵本の読み聞かせ、運動会等赤ちゃんとお母さんが楽しめる事業を実施中です。

【事業内容】子育て支援センターとしての活動拠点を、ボランティア活動、中学生や高校生の社会体験事業の場の整備、現利用者のママ達が次世代の親子支援の出来る場としてより一層活用するため、助成金を活用して施設の改修を行いました。特にボランティア活動では、毎月行う誕生会、年1度のフェスティバルや夏まつり等の事業準備、玩具の消毒等、利用者（赤ちゃんとお母さん）を気遣いながら作業をしていましたが、作業スペースを「部屋」として区切ったことにより仕事の効率が向上しただけでなく、ボランティア同士の情報交換や交流も深まっています。また、ママにとっての居心地の良いトイレ空間や授乳スペースは精神衛生面からも満たされたものとなりました。

【今後の展開】NPOにとってボランティアの方達の協力は無くてはならないもの。支援員養成講座修了生や、近隣大学、高校、中学校や社協等と連携しボランティアの受け入れを行い、子育て支援を通じて住民交流や地域活性化の一助に寄与していきます。



音楽・絵画活動支援と成果の発表

特定非営利活動法人やしおぬくもりネット（八潮市）

【団体紹介】行政や各種団体と協力し、八潮市民に「八潮市に住んでみたい」、「八潮市に住み続けたい」と感じてもらえるような魅力ある街にしたいとの思いを持った仲間が集まり結成した法人です。この思いを基に市民に「まちを知り」「仲間をつくり」「まちづくりに参加してもらう」という人づくりのための市民大学という社会教育活動の運営に参画するとともに、街を活性化するため八潮で唯一の八潮駅周辺を文化の発信基地にすべく数々の文化活動を企画運営しています。その他、防犯パトロールの実施とともに行政や商工会等が実施する市民祭り等の催しに実行委員として協力しています。

【事業内容】当NPO法人の文化発信活動の一環としてまた、青少年の健全育成のため、駅に隣接した商業施設と連携し、次の2つの事業を行いました。①さわやか音楽祭では、7月及び12月のクリスマスに市内の中学校の吹奏楽部を招き演奏会を開催しました。7月は1中学校に30分の2ステージ、12月は2中学校に各2ステージずつ、合計4ステージ演奏しました。②絵画コンクールは、市内の幼稚園と保育園に働きかけ、園児たちに「ありがとう」をテーマに絵を描いてもらいました。園児には、絵を描くことを通じ、頑張ることや努力の大切さを知ってもらい、親から見守られていることを体験してもらうことができました。保護者には頑張っている子供を褒めることを通じ、支援することの大切さを経験してもらいました。

子どもの健全育成

総事業費 397,461円

助成額 300（千円）

600枚以上の応募があり、八潮駅に隣接している商業施設で優秀作品の展示や表彰式を行いました。その後、複数の施設で延10日間展示し、保護者をはじめとする多くの市民の方々に見てもらうことができました。

【今後の展開】○成果 市内校長会及び会場を提供する商業施設が年間行事として取り組むことになり、子供達を中心とした音楽・芸術活動を定着させる目途が立ちました。○今後の展開 行政を含め、市内各界に協力を呼びかけ、全市的な催しに拡大したいです。



「親子で川に親しみ、川を知る」事業

特定非営利活動法人荒川流域ネットワーク（鶴ヶ島市）

【団体紹介】1995年から荒川流域の27団体がネットワークを組織して水質一斉調査を実施。流域の各河川の水質改善を目指し、現在まで毎年1回21年間連続して実施しています。2007年からは、入間川水系の遡上環境を調査して、自然遡上のアユの復活を目指し、その改善活動に取り組んでいます。

【事業内容】県による川越市・狭山市の入間川での魚道設置事業に合わせて、事業の意義を理解してもらうため、入間川2ヶ所、越辺川1ヶ所の3ヶ所で、魚捕りをメインにしたイベントを開催しました。「魚捕りと安全な川遊び」というテーマで、周辺地域の活動団体と連携して、流域の人たちに参加を呼びかけ、親子での川の魚捕り、安全な遊び方を体験してもらいました。1回目は入間川の寺山堰下流で、ガラ曳き、タモ網での魚捕りを体験に19人が参加しました。2回目は入間川の豊水橋下流で、タモ網での魚捕りと投網の打ち方教室に18人が参加しました。3回目は越辺川の石今橋で地曳き網漁と刺網漁を体験、投網の打ち方教室に41人が参加しました。いずれの回も、捕れた魚はミニ水族館で紹介し、フライにして食べてもらいました。

【今後の展開】3回とも9月に実施する計画でしたが、そのうち2回は、増水のため計画変更せざるを得ませんでした。地元の方からは、来年も開催してもらいたいという意向があり、可能な限り増水の少ない8月に実施したいと考

みどりと川の再生

総事業費 759,623円

助成額 607（千円）

えています。特に子どもたちに人気がある投網教室は、投網の数を増やして実施したいと思います。



● 緑を生かしたまちづくり（試案）

● 特定非営利活動法人一二三富の会（坂戸市）

【団体紹介】 子どもから高齢者まで、「三世代が心豊かに暮らすまち」を生み出すために、緑を生かしたコミュニティづくりを提案します。また、樹林地や公園の整備と保全作業、家庭菜園をベースにした朝市の定期開催、新たな地域ブランド等の開発、季節のイベントなど、高齢者の活躍の場を創出しています。

【事業内容】 相続等の関係で、市街地では緑が急激に失われる一方、住民の高齢化、子どもの数が減少しています。その結果、社会全体の活力が失せ、コミュニティが崩壊しかけています。その解決策の一つは、共働き子育て夫婦の世代、DEWKs(Double Eemployed With Kids)の定住化促進です。坂戸市総合振興計画の後期計画のための見直し時期の今、新たな公共の役割を担うNPOにできることとして、具体的な「水と緑」の環境整備で、都市の課題を解決に導くランドデザインの方策を提案するものです。



● みどりと川の再生

総事業費 594,669円

助成額 475（千円）

【今後の展開】 提案の概略「骨子」を坂戸市長に説明し、前年度の成果物（「緑を生かしたまちづくり中間報告書」）とともに提出した記事が新聞2紙に掲載されました。今後、第6次総合振興計画見直し作業の動向に注目し、「坂戸まちなか水と緑の回廊」構想の中で、当会にできることから着手します。また隣接市への聞き取り調査や、関連市民団体との連携を進めます。



● 里山再生と森林資源有効活用事業

● 特定非営利活動法人森臨隊（小川町）

● みどりと川の再生

総事業費 799,672円

助成額 560（千円）

【団体紹介】 放置林となっている森林や里山を健全な姿に再生させ、整備・維持して行く活動と、その過程で生まれる林産物を、再生可能エネルギーである薪炭燃料や用材等の素材として利用し、森林資源を無駄なく利用する活動に取り組んでいます。

【事業内容】 大里郡寄居町内にある放置林・約6,000㎡（1,800坪）において、一面を覆っていた篠藪を刈り、森の陽当たりと風通しを良くするとともに、育ちすぎた樹木の伐採を行うことで、切り株から発生えによる萌芽更新を促し、里山としての再生・若返りを図りました。伐採した樹木は、薪炭燃料、キノコ栽培原木、木工素材として使える部位を選別・搬出し、すべてを森林資源として活用しています。また、作業の一部を作業療法として障害者に手伝ってもらい、成果も得られました。



【今後の展開】 事業の成果を知った他の山林所有者から再生活動に関する依頼や問い合わせもあり、今後も同様の事業を継続・発展させて行きます。森林資源の活用事業は順調に推移し収益も上がり始め新規商品の開発も出来たので、今後は収益事業にも力を入れて行く予定です。



N P O 活動サポート事業（ネーミング事業）



「ネーミング事業」とは、埼玉県NPO基金に50万円以上の「分野寄附」をしていただいた場合に、寄附者の方に県が実施する助成事業の愛称をつけていただける制度です。

N P O への助成手続

3月までの寄附を取りまとめ、翌年度の4月から「ネーミング事業」として募集いたします。
県が設置した有識者等で構成される委員会で審査を行い、採択を決定した事業（NPO法人）に対して県から助成金を交付します。採択されたNPO法人は、年度末に開催されるNPO基金事業報告会（一般公開）で事業の成果を発表します。

ネーミングの基本構成

企業名や商品名等と、支援したい分野を組み合わせたものとなります。

企業名

+

分野名

+

支援

+

事業

商品名、店舗名など

支援したい分野

“応援”、“振興”、“促進”、“保全”、など

平成27年度ネーミング事業一覧

ネーミング事業名	分野	助成団体及び事業名
キンビールマーケティング（株） 埼玉支社 地産地消・食育応援事業	地産地消 ・ 食育	（特非）ReSURE 生産者、料理、家庭をつなぐHikistyle Cafeプロジェクト （記事の掲載はありません）
		（特非）ヒールアップハウス 地産地消商品の普及啓発活動 ～商品販売と教室開催により地産地消をつなげる～
ちふれ化粧品 頑張る女性を応援する事業	頑張る 女性を 応援	（特非）親子サロンmano&mano キラキラ親子サロンサポート事業
（一財）さいたま住宅検査センター 住まいる（スマイル）まちづくり支援事業	まちづくり	（特非）ユーアイネット柏原 元気なシニアによる、元気な仲間とまちづくり事業
		（特非）すぎとSOHOクラブ わたしたちの住み開き ミックスカルチャープロジェクト ～東京編～
金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業	みどりと 川の 再生	（特非）森林活用研究会こびす 健康増進（ユニバーサルデザイン）の森
		（特非）ネットワークひがしこだいら 根岸川源流周辺の再生環境保全事業
（株）富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業	環境保全	（特非）環境とエネルギー 再生可能エネルギーと私たちの生活
		（特非）チーム東松山 地域から再生可能エネルギーを育てる エコタウン市民プロジェクト事業

キリンビールマーケティング株式会社 埼玉支社 地産地消・食育応援事業

地産地消商品の普及啓発活動
 ～商品販売と教室開催により地産地消をつなげる～

総事業費 461,206円
 助成額 400（千円）

特定非営利活動法人ヒールアップハウス（川口市）



【団体紹介】「地域で暮らしたいから、地域のモノを大切に」というコンセプトで、障がいのある方たちと埼玉県産の素材を使って、パンや焼き菓子を製造、販売しています。

【事業内容】埼玉県産の小麦の普及啓発活動として、新商品開発と教室の開催を実施しました。埼玉県産の小麦を使ったパン教室と焼き菓子教室を4回開催し、全ての回で満員の参加となりました。新商品開発においては、さいたまビジネス大賞を受賞した「スーパー全粒粉」を使用し、マドレーヌ・シフォンケーキを完成させました。商品開発にはパレスホテル大宮の製菓料理長の指導をいただき、完成度の高い商品にすることができました。どちらの商品も販売していますが、特に、マドレーヌは好評を得ており、イベント会場では完売が続いています。



【今後の展開】新商品のマドレーヌとシフォンケーキは今後も県内のイベント会場などでも販売していきます。また、ギフト商品として箱入りのものを準備し、ネット販売を進めて商品の拡大につなげていきたいです。教室開催については、季節のイベント等を利用し、継続的に実施していきます。

ちふれ化粧品 頑張る女性を応援する事業

キラキラ親子サロンサポート事業

総事業費 503,869円
 助成額 367（千円）

特定非営利活動法人親子サロンmano&mano（川口市）



【団体紹介】川口市、さいたま市を中心に活動する子育て支援団体。乳幼児期にたくさんの愛情の中で育つ親子育ちを推奨し、親子の笑顔作りを大切に活動しています。主にヨガを中心とした活動内容の他、育児サークルの主催、親子向け講座、親子イベント等の企画運営を行っています。

【事業内容】日々育児に奮闘する母親へのリフレッシュ企画「ハロウィンbeautyイベント」を2会場で開催しました。ネイルやマッサージ等の施術を地域で活躍する女性マサセラピストが担当しました。今年度は、メイクを本ネーミング事業の寄附者であるちふれ化粧品様が担当しました。見守り保育があることで子連れでも安心して参加できる事業にすることができました。また、ハロウィン衣装を着せて写真撮影



影を楽しめるコーナーやハロウィンカードの制作コーナーを設置することで、親子の交流の場を創出することにつなげることができました。12月には、0歳児から一緒に参加できる「Xmasベビーカーコンサート」を開催しました。100組を超える親子が参加し、プロの女性音楽家による生の演奏を楽しみました。

【今後の展開】たくさんの親子の笑顔が見られ、日々の育児のリフレッシュに繋がったと思います。今後も親子で安心して参加できるイベントや、居場所の提供を通じて、育児の充実を図り、豊かな愛情の中で育つ子ども達の笑顔に繋がっていききたいと思います。

一般財団法人さいたま住宅検査センター

住まいる（スマイル）まちづくり支援事業

元気なシニアによる、元気な仲間とまちづくり事業

総事業費 356,529円

助成額 300（千円）

特定非営利活動法人ユーアイネット柏原（狹山市）

【団体紹介】地域の元気なシニアが主体となって、急激な少子高齢化から生じる課題を解決して、住み良いまちづくりをするために設立した法人です。主な事業は、①生活支援事業：生活弱者の支援、②コミュニティサロン事業：交流と憩いの場としてカフェの展開と、健康で文化的な生活を支援する各種教室、講座イベント等を主催、などです。

【事業内容】①生活支援事業として、生活弱者に対する安価で安全な防災・防犯対策（火災報知器・テレビ付ドアホン・家具等の転倒防止装置の設置、安定度の高い踏み台の製作・販売）と、②コミュニティサロン事業として、講

座・講習会（認知症予防講座、育自のための小さな魔法研修会、体力測定会）、サークル活動（健康体操、ウォーキング）、イベント（コンサート2回、柏原祭り、地域支え合い感謝祭バザー、新年会など）を実施しました。



【今後の展開】①生活支援事業関連業務については残念ながら低調でありましたので、今後は宣伝告知に力を入れて、挽回を図ります。②コミュニティサロン事業については順調に推移しており、延べ1,000人以上の参加者を数えました。今後はさらに工夫を凝らして、住みよいまちづくりに寄与いたします。



わたしたちの住み開き

ミックスカルチャープロジェクト ～東京編～

総事業費 355,378円

助成額 300（千円）

特定非営利活動法人 すぎとSOHOクラブ（杉戸町）

【団体紹介】地域の活性化・新たな産業振興につながるニュービジネスをSOHO事業者の立場から提案し、SOHO事業者・起業家等と共に活動。現在は、町との連携による「杉戸町創業支援事業計画」に参画し、地域に仕事を生み出す中核的役割も担っています。

【事業内容】杉戸町にて5年間放置されていた昭和の一軒家を自分たちの手でリノベーションし、その一部を「町の小さな文化創造基地」として機能させる「住み開き事業」を実施しました。本事業では、郊外ベットタウンのポテンシャルと東京圏のクリエイティビティ文化を連携かつ融合。地域住民には新たな「知」と「文化」をビジネスや暮らしに取り入れるきっかけを生み出し、東京在住者には地域密着型の交流、地方で専門スキルや経験を生かす場を創出しました。

【今後の展開】本事業によって見出せた地域におけるニーズとポテンシャルを活用して、地域の「文化力」を発展させることを目標に継続的なアクションを実施していきたい。また、本事業を通じて新たに生まれたコミュニティを支援する仕組みづくりにも積極的に取り組んでいきます。



金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業

健康増進（ユニバーサルデザイン）の森

総事業費 590,346円

助成額 590（千円）

特定非営利活動法人森林活用研究会こびす（寄居町）

【団体紹介】老若男女・健常者障害者を問わず万人に対し、森林の有能性をいかして、森林保全と福祉・教育の場を提供すると同時に、それらについての研究調査及び啓発に関する事業を行い、もって人々の健康維持増進・メンタルヘルスクアと森林保全に寄与する活動を行っています。



【事業内容】金尾山周辺を健康増進の森（ユニバーサルデザインの山）と位置づけ、周辺を繋ぐ遊歩道（作業道）を整備し、楽しく散策できるように木製アイテム（腹筋運動も出来る丸太ベンチ、木製ダンベル）を各所に配置しました。何度でも来たくなるような森を目指し、他の地域が行っている森林整備と差別化を図り、3年計画の1年目で老若男女・健常者障害者を問わず、誰もが喜びを感じられる「癒しの空間づくり」に仕立てる第一段階が完了しました。

【今後の展開】1年目の課題として取り組んだ内容を計画通り達成しました。さくら山及び遊歩道を整備し、森の地形を活かしたハイキングコースを作り、健康増進アイテム（木製ダンベル、腹筋用ベンチ等）と併せて休憩用ベンチの設置を行いました。設置した健康増進アイテムがもたらす効果（ダンベルや腹筋を利用した際の消費カロリーの目安等）などを書いた看板も設置して利用者の便宜を図ることも行いました。また、さくら山の遊歩道を安全に楽しく散策できるように案内用の地図を随所に標示しました。特記事項としては、地域の要請を踏まえて当初予定していた腹筋丸太ベンチにテーブルを付けてそれぞれ2基設置して地域利用者の便宜を図ることに貢献しました。



根岸川源流周辺の再生環境保全事業

総事業費 772,620円

助成額 600（千円）

特定非営利活動法人ネットワークひがしこだいら（本庄市）



【団体紹介】本庄市児玉町小平地域の自然、文化を守り育て広く活用してもらうこと、また、住民が生きがいと健康で文化的な文化生活ができることを目的に平成22年にNPO法人として設立しました。これまでに、あじさいの小路整備、地域文化財の保護育成、緑化保全活動等の活動をしています。

【事業内容】当地域にある根岸川源流域は、陣見山中腹に位置し、本庄市指定文化財「岩谷堂」また、貴重な夏ツバキ、犬ブナの森を有しています。ここへ通ずる根岸川は流木の堆積や山道の荒れで景観を損ね、通行にも支障をきたしていました。このため、今回の助成金をいただき、堆積物の除去、川の清掃整備、山道の整備を行い沢蟹の棲める清流へ整備した。また、案内板の設置、ガイドマップを作製しました。



【今後の展開】清流を取り戻し、親しめる川と、安全な遊歩道ができた。案内板の設置とガイドマップの利用により、来訪者に親切な場所になりました。また、今後は、この上部にある「岩谷堂」「夏ツバキ、犬ブナの森」を周遊できるハイキングコースを継続的に整備していきたいです。

株式会社富士薬品ドラッグセイムス

環境保全支援事業

再生可能エネルギーと私たちの生活

総事業費 780,396円

助成額 700（千円）

特定非営利活動法人環境とエネルギー（さいたま市）

【団体紹介】水やエネルギーシステムと環境との関係を総合的かつ客観的に研究及び評価し、安心、安全な暮らしや持続可能な企業活動と調和する社会の実現に寄与することを目指して、セミナーや視察、意見交換会などの活動を進めています。

【事業内容】1、体験型セミナーを2回開催。生徒、学生向けに、身近な再生可能エネルギーについて学び、未利用熱で動くスターリングエンジンの模型作りを通じて熱エネルギーについて考えてもらいました。

2、シンポジウムを2回開催。ビジネス向けの内容で、現役の環境省地球温暖化対策課長や各種再生可能エネルギーの普及促進の最前線で活躍する識者を招き、温暖化問題や再生可能エネルギーの現状を学び、自社事業への展開を考えてもらいました。



【今後の展開】生徒・学生向けセミナーは集客に苦戦しましたが、最終的には生徒、学生に身近な未利用熱エネルギーを学び、それが動力にもなることを知ってもらうことができました。シンポジウムでは、国や関係団体専門家の最新話題提供を通じ、参加者の知見を磨くとともに新規ビジネスにつながるきっかけになりました。



地域から再生可能エネルギーを育てる
エコタウン市民プロジェクト事業

総事業費 746,350円

助成額 700（千円）

特定非営利活動法人チーム東松山（東松山市）

【団体紹介】1998年よりスタートした「環境まちづくり」、その拠点として2010年にオープンしたコミュニティカフェ「まちカフェ」、2011年東日本大震災直後よりはじめた被災地復興支援の3事業を行うNPO法人です。



【事業内容】東松山市の環境基本計画（第二次）と東松山エコタウンプロジェクトを市民サイドから支えるため、昨年度より「エコタウン市民プロジェクト」

を始めました。具体的には、節電紙芝居や省エネ実験室などのワークショップを通じた「省エネプロジェクト」、太陽光発電を身近にする独立型システム講習会や太陽熱・バイオマス活用などを体感する「創エネプロジェクト」、そして自然エネルギーで発電した電気を蓄電して使う「畜エネプロジェクト」、これらを統合的に行うことで「エネルギーを育てる（育エネプロジェクト）」。

子どもたちの参加も促し持続可能な社会をつくる次世代を育成します。

【今後の展開】エコタウンまつりや環境みらいフェアなど、全市的に行われるイベントで「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」の3分野で子どもから大人まで対象に各種ワークショップを開催。さらにこれらの技術を学び、エネルギーを手作りする講習会でエネルギー自給のまちづくりに貢献しました。



▼ 子育てだって立派なスキル！保育サポーター講座

総事業費 260,187円
助成額 260（千円）

▼ NPO法人ふうせん（蕨市）

【団体紹介】集団託児の請負や子育て支援イベント・講座の開催、情報発信、また女性の社会進出の応援もしています。「子育て支援はまちづくり！」として、地域で活躍する人材の育成、コミュニティづくりにも力を入れています。

【事業内容】子育て経験をスキルとして、保育サポーターとして活動してくれる人材の発掘、育成を行いました。5週にわたって講座を開催し、資格がなくても自信をもって活動できるように、集団保育の心得や子どもの心理などの座学、いざという時のための小児応急手当の実践をまじえながら受講した後、実際に子どもをお預かりする託児実践も行いました。毎回、ふりかえりカードに感じたこと、学んだことを記入し、取組を自信として持ち帰ってもらいました。



【今後の展開】NPO法人ふうせん、社会福祉協議会のボランティアセンター、ボランティア託児グループ、ファミリーサポートへ延べ人数15名の登録がありました。今後の活躍を期待します。また、来年度以降も保育サポーター講座を開催し、発掘育成を継続、女性が活躍しやすい環境づくりにも力を入れたいと思います。



▼ 産後ケア・育児ママ支援

総事業費 320,395円
助成額 285（千円）

▼ 特定非営利活動法人さいママ（さいたま市）

【団体紹介】産後の支援（赤ちゃん・ママの心身ケア、生活支援：家事掃除食事づくり等）の需要が高まっています（産後ケア市場）。産後に助産師や家事スタッフが訪問して、赤ちゃん和妈妈、生活環境を医学的根拠をもって支援しています。

【事業内容】晩婚化、核家族化、共働き世帯の増加などの社会背景から、産後支援の需要は高まりを見せ、一方で産後うつ、ママの孤独感、育児行動に対する親の自立不足などの社会問題も浮き彫りになっています。そんなママ達・育児世帯を支援する人材を発掘するとともに、医療職監修によるケア提供のための知識・経験習得と、一方、働く側にとっては自身の自信につなげ、かつ「キャリア志向」でなくても経験を「活かし」仕事のチャンスが得られることを目的とした産後ケア人材発見育成講座を実施しました。

【今後の展開】産後ケアに意欲や興味関心をもった人材を発掘しました。講座を通して発掘した人材の教育、具体的なお仕事へ向けた面談の実施、まだ認知が低い産後ケアの重要性の普及といった点をふまえ、平成28年度は内容を進化させた人材発掘育成のための取組を展開開始します（さいママ産前産後の妊婦さん、産後ママ、母乳育児ママ、離乳食に役立つ料理講座＆産後ママ支援のための食事作り講座）。



● 特定非営利活動法人 すぎとSOHOクラブ（杉戸町）

当法人は杉戸町を拠点に、地域の安全に安心して暮らせる、豊かなまちづくりのため、保健・医療または福祉の増進を図る活動等を行っています。

今回は、埼玉県利根保健医療圏医療連携推進協議会様に名義後援をいただき、地域医療と連携した「とねっとID付きリストバンド」の普及販売活動を実施しました。これを地域の高齢者が着用することで、認知症等による徘徊などの迷い人対策と、もしもの救急搬送時に医療機関における対応時間が短縮され、安心して暮らせる地域づくりに貢献できると考えました。次年度は、有料販売を理解してもらうための広報活動や販売単価を再検討し、継続して普及活動を実施していきます。



● 特定非営利活動法人ウィンター・ローズ（熊谷市）

～ 一生自分であるために、大人も子どもも人格が尊重される楽しい毎日を ～

私たちは、成年後見制度と児童憲章の普及啓発活動を明るく元気に行っています。

今回、成年後見制度の普及啓発事業として、高齢者施設の訪問、高齢者とそのご家族への制度説明とご意見の収集（非公式）、ホームページの開設などを実施しました。事業を通じて気づいたことは、成年後見制度への関心は高くても、裁判所に管理・監督されることに、反感や違和感をお持ちのご家族やご親族の法定後見の方の存在です。これからは、今ある生活で創りかえられるアイデアを前向きに寄り添って考えたり、より多様化した生き方を支援したり等、当事者の方の気持ちを汲むことを大切にしながら、プライバシーの保護などにも配慮し、安心感をお持ちいただける体制づくりを目指します。

● 特定非営利活動法人高齢者・障害者サポートクラブ（毛呂山町）

本法人の活動は、成年後見業務を始め、特定相談支援事業等を行っております。

業務の内容から出張等も多く、みんなでサポート事業を活用して公用車のリースを導入し、日々の活動に使用しております。

平成27年度の事業成果は、成年被後見人に対する支援件数111件、サービス利用計画の策定件数390件を数える等です。おかげさまで、業務の迅速・拡充が図られ、利用者様の満足度向上に役立っております。

今後も職員一丸となってニーズに応えるべく努力してまいります。



● 特定非営利活動法人ほっとプラス（さいたま市）

私たちは、ホームレス状態にある方など生活にお困りの方への住居提供、日常生活支援を行うNPO法人です。

今回の事業においては、地域住民の方々との交流を軸におき、平成27年6月にシンポジウムの開催、平成27年10月に地域イベント（お祭り）へ参加しました。シンポジウム開催においては、80名の方々にお越しくださり、生活困窮者や障害者支援に対する現状と課題に対する啓蒙活動を行うことができました。地域イベントへの参加においては、15名の当事者の方々、連携している就労支援事務所のスタッフと協力して、一緒に地域との交流の場に参加することができました。

相談支援事業においては、1ヵ月平均で約20件程度の相談の対応を行い、必要に応じて制度の説明や関係機関の紹介、住居の提供支援につなぐことができました。



保健・医療・福祉



特定非営利活動法人 聴導犬普及協会（ふじみ野市）

聴覚障がい者に必要な音を知らせ、生活をサポートする聴導犬。当会はそんな聴導犬の育成と、普及活動を行っています。



今回、候補犬達の健康診断やワクチンの摂取を行い、訓練や広報活動において、安全な活動を行うことができました。聴導犬を育成する上で、犬達の健康面を管理していくことは非常に大事なことです。犬達の健康を保障することが、聴覚障がい者の生活を支えることにも繋がるのです。おかげさまで犬達も元気に暮らしています。

まちづくり

特定非営利活動法人鳩ヶ谷協働研究所（川口市）

埼玉スタジアム線（埼玉高速鉄道）鳩ヶ谷駅舎と西口歩道の一部を使い『鳩ヶ谷駅夜祭』という市民祭りを開催しました。埼玉スタジアム線開通15周年と東日本大震災5年をテーマに市民参加型のパネル展示を鳩ヶ谷駅舎1Fにて行いました。市民や企業、行政などから関連する写真やイラストなどを展示しました。また、震災復興の応援メッセージを桜の花びらを模した折り紙に書いてもらい、桜の木を模した模造紙に張ってもらいました。



学術・文化・芸術・スポーツ

特定非営利活動法人埼玉県愛瓢会（所沢市）

当法人は、NPO法人全日本愛瓢会の埼玉県支部として活動しています。今年度の助成金では、2つの事業を実施しました。

①所沢市老人福祉センターへの来場者（高齢者）にヒョウタン工芸作品作りを実施指導しました。これにより、高齢者同士の会話が生まれ、癒しと安らぎのある生活の手助けになると確信しています。

②平成27年度第9回埼玉県ひょうたん展示会を12月1日から5日間、所沢市役所の市民ギャラリーにて開催しました。1,500人の来場者があり大盛況でした。来場者からは、毎年作品の幅が広くなり、加工技術の向上がうかがえるとの評価を頂き心強く思いました。これからも、みなさんの笑顔を誘い市民の充実した余暇活動に役に立つよう、努力したいと思います。



特定非営利活動法人 ためぞうクラブ（さいたま市）

さいたま市岩槻区を拠点に活動しており「地域のため、人のためになることなら、何でもためそう」を合言葉にいろいろなことに挑戦しています。今回の事業もその一環で企画し、関係する法人・団体等への説明や調整を重ねて実現することができました。

やれたら良いのに…でも無理だよ。がよく聞かれる意見です。でも、やってみなければ何も分かりません。今回小さいことですが、どうすれば実現できるか……ためぞうクラブの考え方を実証したひとつの事業になりました。



学術・文化・芸術・スポーツ

特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・埼玉（川口市）



広く知的障害のある人たち（以下「アスリート」という）に対して、上尾さいたま地区、川口地区、三郷地区の3ブロックにおいて11種目のスポーツ競技（陸上・水泳・サッカー・フットサル・卓球・テニス・バスケットボール・馬術・アルペンスキー・フロアホッケー・フィギュアスケート）のトレーニングや競技会を提供し、アスリートの健康な身体や体力の保持増進を図り、活動を共にする市民ボランティアと友情をわかちあう機会を通してアスリートに対する理解を広げ、よりよい地域社会の実現に寄与できるよう努めています。



NPO支援

特定非営利活動法人NPO埼玉ネット（さいたま市）

埼玉県内における中間支援団体で、さまざまな分野で日進地区地縁団体との協働を進めています。今回は大きく6つの事業を実施しました。

- 1 シニアサポートセンターゆめの園（地域包括支援センター）との協働
- 2 キミに、つながってテレビ！活動開始
- 3 社会福祉法人埼玉福祉事業協会杉の子学園との協働
- 4 地域での助け合い、共助の仕組み構築の機運の高まり
- 5 活動資金の確保と「まちづくりファンド」造成の第一歩
- 6 日進親和会・日進2丁目自治会等との連携がさらに深まった。



環境

熊高森づくりの会（熊谷市）

平成27年10月24日（土）の県立熊谷高校創立120周年記念式典において、熊高正門で記念植樹を行いました。当会の江利川会長や、熊谷高校の生徒会長等の手により、熊高の赤豊に映えるベニシダレを植えました。



また、平成27年11月8日（日）に第8回熊高の森育樹祭を開催し、総勢147人が参加しました。ここでも熊高の創立120周年を祝し、熊谷桜など120本の桜の苗木を、2号地「熊高さくらの森」に植樹しました。当日は、高額のご支援をくださった方へ感謝状を贈呈しました。熊高の歴史に、在校生とOB等による当会の森づくり活動が新たに記されることになりました。

特定非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会（さいたま市）

県内の環境活動と地域活性化を目的に地球温暖化・環境保全地域への啓発に取り組んでいます。8月の研修見学会では、土浦市と日立セメント（株）を見学。生ごみの分別回収は画期的で、土浦市の取り組みのシンプルさには学ばべき点が多くありました。このほか、助成事業とは別に、11月には講師にドイツ（欧州）環境規制調査望月浩二氏をお招きし、ドイツ・欧州の環境事情～廃棄物リサイクルと脱原発／（自然エネルギー）を中心に～をテーマに講演会を開催しました。



特定非営利活動法人小川町風土活用センター（小川町）

当法人は、バイオガス技術で地域の資源を循環させる試みを、行政や住民とともにを行っています。ほかに自然エネルギー学校の開催（現在休校中）などにより、循環型有機農法をはじめ、地域固有の資源や有形・無形の財産を活用する先人の知恵の伝承を目指し、地域の風土を大切に活動をしています。今回の事業で実施した講演によって、参加者以下

- ①生ごみのバイオガス資源化は農業地帯を抱える自治体の優れた選択肢
- ②バイオガス施設の運営は計画段階からの住民参加が不可欠
- ③事業を継続することで住民が地域に一体感を抱くようになる



事務局補足

小川町で開催されたシンポジウム「市民が手にする地域分散型エネルギー」は2法人の共催で実施されました。

特定非営利活動法人おがわ町自然エネルギーファーム（小川町）

私たちは、地域にある自然エネルギー資源を活用しつつ、持続可能な暮らしへの仕組みづくりを行い、地域の自立に向けて活動しています。

今回実施したシンポジウムでは、まず、参加者の喫緊の要求である（4月からの）電力小売自由化について、現状報告と電力会社選択の留意点、今後の見通しなどを議論して共有しました。生ゴミ資源化のバイオマスエネルギー事業の先行事例や当地での活動成果を、午前中のシンポジウムにて学び、それとともに地域発電事業の実践報告、ドイツ・アメリカ・屋久島の電力供給事業事例などを学びました。長い歴史の歩みの中で形成されてきた里山を抱えた当地方の地域エネルギー開発とその事業化のための課題などを議論し、参加者同士、今後の展開においての情報共有が図られ、早速、地域間の連携なども始まっています。



中核的NPO法人育成事業

中間支援NPO法人（※）が実施する、地域の中核となるNPO法人の育成事業に対して助成を行い、NPO法人の認定・仮認定・指定の取得を支援しました。2コース、計27法人に対し個別支援を行いました。

※中間支援NPO法人・・・他のNPO法人や市民活動の支援を行うNPO法人

法人名	事業の内容（コース）
<認定・県指定> 特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター （さいたま市）	（事業型NPOコース） ○ 介護保険や障害者支援などの事業収益で運営しているNPO法人を主な対象に新規に事業を発展させるために必要な資金調達方法などをテーマとしたセミナーを開催しました（計2回開催）。 ○ 認定等制度の説明、事業計画書づくり、会員管理システムなどについての説明・相談会を開催しました（計3会場で実施）。 ○ 行政書士等の専門家を派遣し、認定・仮認定・指定の申請や会計処理などのコンサルティングを行いました（11法人支援）。 ○ 法人運営のノウハウ等を、先進的NPO法人において実地に学ぶことができる研修をコーディネートしました（1法人コーディネート）。
<認定・県指定> 特定非営利活動法人 メイあさかセンター （朝霞市）	（ボランティア型NPOコース） ○ 会費や寄附を主な財源としボランティアで社会的貢献活動などを行うNPO法人を主な対象に、法人運営のポイント、収益事業の展開などをテーマとしたセミナーを開催しました（計6回開催）。 ○ 行政書士等の専門家を派遣し、認定・仮認定・指定の申請や会計処理などのコンサルティングを行いました（16法人支援）。 ○ 法人運営のノウハウ等を、先進的NPO法人において実地に学ぶことができる研修をコーディネートしました（2法人コーディネート）。



〔認定〕特定非営利活動法人 燈台（北本市）

当法人は難民支援活動の開始以来28年目を迎えました。当初はパキスタンで難民学校と風土病対策を実施してきましたが、現在は活動拠点をアフガニスタン国内に移し活動を継続しています。平成27年10月付で「認定NPO法人」として、認定を受けました。そのため寄附金控除の税の優遇措置を受けることができるようになり、支援の輪が広まりました。その他、ホームページもリニューアルし、ニュースレターのバックナンバーを掲載しています。

特定非営利活動法人ivory space（さいたま市）

当団体は、多文化共生の視点にたって、東南アジア地域を中心に草の根レベルでの教育協力や相互交流を行うと同時に、地域社会を考えるキッカケづくりを志向しています。「アイボリーサロン」と銘打った講演会では、『アジアを知る、日本を知る』をテーマに、各方面で活躍されている専門家の方々に講師をお願いしました。気軽な茶話会（集まり）を心がけていますので、お気軽にお越しください。ちょっとした関心や身近なところから世界が広がり、世界とつながる草の根活動をモットーとしています。



地域の共助社会づくりの担い手支援事業

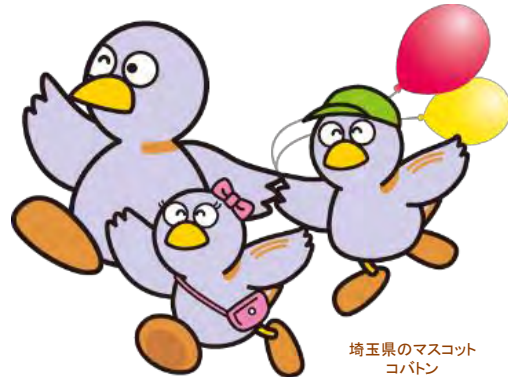


各地域振興センターが事業を企画し、地域の共助社会づくりの一翼を担うNPOの運営力向上のためのセミナーや交流会等を開催しました。

地域振興センター	事業名・講師	開催日・場所
南部地域振興センター	南部地域NPO法人活動発表&交流会	平成27年12月4日(金) 13:00~16:15 かわぐち市民パートナーズステーション会議室
東部地域振興センター	東部・利根地域発 NPO法人の集い ～ 地域を思う・はつらつNPO法人の さらなる発展をめざして ～ 〔認定〕特定非営利活動法人日本NPOセンター 企画部門長 吉田 健治氏	平成27年12月9日(水) 13:30~17:00 春日部地方庁舎大会議室
利根地域振興センター		
県央地域振興センター	県央地域NPO交流&研修会	平成28年3月17日(木) 13:30~16:15 上尾地方庁舎
南西部地域振興センター	NPOステップアップセミナー 武蔵大学 教授 粉川 一郎氏	平成27年11月20日(金) 17:00~19:30 ウェスタ川越4階大会議室
西部地域振興センター		
川越比企地域振興センター		
川越比企地域振興センタ 東松山事務所	NPO法人事例発表会・交流会	平成28年1月26日(火) 14:00~16:30 東松山地方庁舎
北部地域振興センター	北部・秩父地域NPO法人 『事例発表会&交流会』	平成27年11月27日(金) 13:30~16:30 寄居町中央公民館
北部地域振興センター 本庄事務所		
秩父地域振興センター		

平成28年度 NPO基金 事業の紹介

平成28年度にNPO基金を活用して行う事業は以下のとおりです。各事業の詳細については共助社会づくり課へお問い合わせください。ホームページ「NPOコバトンびん」にも募集要項等を掲載しています。（※「NPOコバトンびん」については裏表紙を御覧ください）

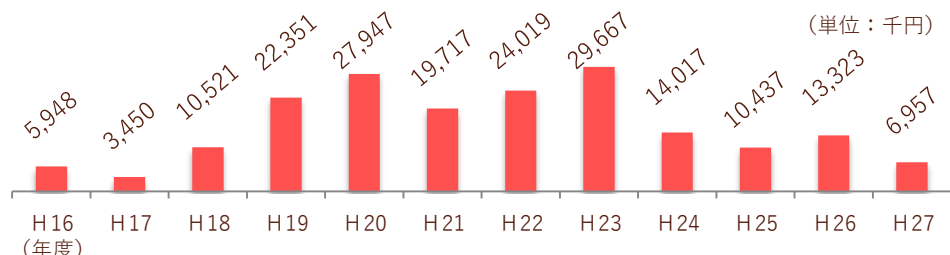


埼玉県のマスコット
コバトン

事業名	事業の概要
共助社会づくり支援事業	NPO法人が実施主体となり、市町村や自治会、社会福祉協議会、任意団体など3主体以上で連携し、地域課題を解決するために取り組む事業に対して助成します。 【補助率】 補助対象経費の4/5以内 【助成総額】 270万円 【助成枠】 20～50万円
NPO活動サポート事業	分野希望寄附金を原資として、NPOならではの独創的なアイデア・先駆的な視点のある事業に対して助成します。 ◆ 分野指定枠 【補助率】 補助対象経費の4/5以内 【助成総額】 390万円 【助成枠】 20～100万円 今年度の募集分野： 「子どもの健全育成」 「保健・医療・福祉」 「地域安全活動」 「みどりと川の再生」 ◆ 寄附者によるネーミング事業 【補助率】 補助対象経費の10/10以内 【助成総額】 480万円 【助成枠】 20～100万円 今年度の募集事業 ①一般財団法人さいたま住宅検査センター 住まいる（スマイル）まちづくり支援事業 ②キンビールマーケティング株式会社 埼玉支社 地産地消・食育応援事業 ③ちふれ化粧品 頑張る女性を応援する事業 ④金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業 ⑤株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業 ⑥菊水堂 農福連携振興事業
みんなでサポート事業	NPO基金登録団体の日常の活動を、団体希望寄附金を原資として助成します。団体希望寄附を受けた基金登録団体は、「みんなでサポート事業」（4月募集・9月募集・12月募集）に応募することで助成を受けられます。
中核的NPO法人育成事業	NPO法人の認定・仮認定・指定取得の促進を図るため、中間支援NPO法人（※）が実施する、地域の中核となるNPO法人の育成事業に対して助成します。 ※中間支援NPO法人： 他のNPO法人や市民活動の支援を行うNPO法人
地域の共助社会づくりの担い手支援事業	共助の担い手としてのNPOの事業遂行能力、課題解決能力等の向上が図られるよう、各地域振興センターが支援します。

NPO基金を 支える 3つの寄附方法

埼玉県NPO基金への寄附額推移



<一般寄附の推移>

	H23	H24	H25	H26	H27	累計
一般寄附	663	1,336	1,841	1,155	684	34,326

※H16年度からの累計

一般寄附

広くNPO活動の推進のために活用されます。

<分野希望寄附の推移>

(単位：千円)

	H23	H24	H25	H26	H27	累計
分野希望寄附	12,082	4,212	6,133	5,604	5,723	66,052

※H16年度からの累計

分野希望寄附

特定非営利活動促進法（NPO法）に定める活動分野をもとに、支援したい分野を指定する寄附方法です。

「NPO活動サポート事業」の原資となります。

50万円以上の寄附の場合は、下記※印の付いた分野のように、具体的な活動分野も指定できる

「NPO活動サポート事業 ネーミング事業」を利用することができます。

- 保健・医療・福祉
 - 環境保全
 - 男女共同参画
 - 職能開発・雇用拡充
 - 観光振興
 - 地産地消・食育※
 - 社会教育
 - 災害救援
 - 子どもの健全育成
 - 消費者保護
 - 農山漁村・中山間地域支援
 - まちづくり
 - 地域安全
 - 情報化社会
 - NPO支援
 - 学術・文化・芸術・スポーツ
 - 人権・平和
 - 科学技術
 - 国際協力
 - 経済活動
- ※H16年度からの累計

<団体希望寄附の推移>

(単位：千円)

	H23	H24	H25	H26	H27	累計
団体希望寄附	16,922	8,469	2,463	6,564	550	87,977

※H16年度からの累計

団体希望寄附

基金登録団体（※）の中から、支援したい団体を希望できる寄附方法です。「みんなでサポート事業」の原資になります。指定された団体が「みんなでサポート事業」に応募し、助成を受けることで活用されます。

ただし、助成にあたり審査があり、一年度内の助成金額の上限は200万円となります。

なお、団体希望寄附のうち一部の寄附金は一般寄附として受入れ、広くNPOの支援に活用します。

基金登録団体

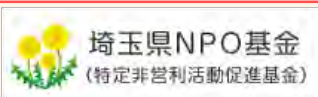
ホームページNPO情報ステーション『NPOコバトンびん』で確認できます。

URL：<http://www.saitamaken-npo.net/>

【トップページ】

【埼玉県NPO基金】

【「基金登録団体」のご紹介】



このバナーが目印です。

情報は随時更新しています。団体希望寄附先として指定したい団体が登録されているか、事前に確認してください。お電話（TEL：048-830-2828）でも確認できます。



NPOの方

～ お悩み解決を支援いたします ～

❖ 人材のお悩み ❖

経験やスキルを生かして地域社会とつながる「専門家（専門家ボランティア）」を紹介いたします。
HP「NPOコバトンびん」で公開している登録者の一覧からお選びください。

※専門家（専門家ボランティア）については次のページを御参照ください。

※御希望のスキルをお持ちの方の登録がない場合がございます、その際は御容赦ください。

❖ お金のお悩み ❖

幅広い資金調達の方法をお選びいただけるよう、県は取組に賛同いただけた企業と「共助社会づくりのための協力に関する協定」を締結し支援につなげています。

CASE1

県内の8金融機関で
融資の相談受付

県と協定を締結しました

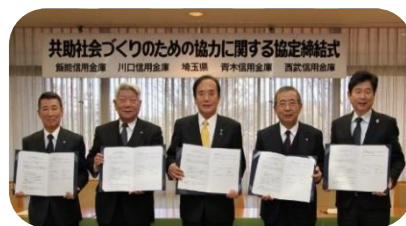
- ❖ 埼玉りそな銀行
- ❖ 武蔵野銀行
- ❖ 埼玉縣信用金庫
- ❖ 日本政策金融公庫
- ❖ 川口信用金庫
- ❖ 青木信用金庫
- ❖ 飯能信用金庫
- ❖ 西武信用金庫

県は協定を結んだ8金融機関の職員とともに、NPOへの理解を促進する研修会を開いたり、NPOを対象とした融資商品を販売したりしているほか、NPO法人を支援するため独自の取組を行うなど、共助社会づくりをサポートする体制を整えています。

融資に関する御相談は、各金融機関へお問い合わせください。

～ 支援がさらに充実しました ～

- ☛ 信用保証協会による信用保証の対象にNPO法人が加わりました。
- ☛ 県の制度融資の対象にNPO法人が加わりました。（一部利用できないものもあります。）



CASE2

クラウド
ファンディング

県と協定を締結しました

- ❖ 株式会社サーチフィールド（FAAVO埼玉の運営会社）

プロジェクト公開の際、
facebook

Saitama 共助Style

による広報で支援します。

クラウドファンディングとは、群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語です。

やりたいこと（プロジェクト）を実現するための資金をインターネットを通じて不特定多数の支援者から集める、新しい資金調達の手段です。

クラウドファンディングサイトの仕組み
FAAVO埼玉 (<https://faavo.jp/saitama>)



※ FAAVO埼玉を利用すると、手数料の割引が受けられます。
（県を通じて実施した場合に限ります。）

CASE3

民間の助成金情報も
随時更新！

HP「埼玉県NPO情報ステーション（NPOコバトンびん）」では、民間の助成金についても随時、御紹介しています。



✧ 連絡先は、裏表紙を御覧ください ✧

共助社会づくり課に 御相談ください！

個人の方

～ 経験やスキルを社会貢献活動に生かしてみませんか ～

専門家（専門家ボランティア）として登録してみませんか。
あなたのスキルを必要としているNPOがいるかもしれません。登録は随時受付中！
HP「NPOコバトンびん」に掲載している専門家登録シートを御利用ください。
登録いただいた方の情報は、個人情報を除き、HP「NPOコバトンびん」で公開しています。

✧ 専門家（専門家ボランティア）とは？ ✧

経理事務、ホームページ作成などのお手伝い、建物の改修や活用の際の専門的な助言といった、仕事で培った経験やスキルを生かした社会貢献ができる方です。

～ 地域に飛び出す皆様を応援！ ～

地域で活かす 私の力 地域デビュー

県民の皆様に地域で行われている様々な支え合う活動に関心を持ち、参加につなげていくきっかけにさせていただくため冊子を作成しました。

特に現役世代や退職を控えた方々を対象に、地域活動への参加のきっかけや楽しさを紹介しています。

❖ 配布場所 ❖ 市区町村役場、社会福祉協議会、市民活動サポートセンター、協定を締結した8金融機関等



企業の方

～ 共助のアイデアをお持ちでしたら ～

企業がお持ちの独自スキルなど、得意分野で社会貢献してみませんか。
企業の社会貢献と県民の皆様のニーズをマッチングいたします。お気軽にお問い合わせください。

マッチングの一例

NPO法人が主催したママ向けメイク講座。赤ちゃんがいてもOKです。御協力いただいたのは、化粧品会社の有志ボランティアの方と、モデルルームの一部を実施場所として快く開放してくださった、住宅販売会社様です。

地域や社会の
課題解決を
図ろうとする

NPOや
自治会など



専門家
（専門家ボランティア）

経験やスキルを
生かして
社会貢献したい人
地域住民・企業
大学など

共助仕掛人
つなぎ役

助成金・
寄付・融資



共助の取組マッチング事業

地域の課題解決を図ろうとするNPOや自治会と、経験やスキルを生かして社会貢献したい専門家をつなぎ、さらに、助成金や寄附、融資など活動資金もつなぐことで、共助の取組を推進する仕組みをつくる事業です。

皆様からの御寄附をお願いします



個人



個人住民税
所得税の
寄附金控除
(ふるさと納税制度)

埼玉県のマスコット
コバトン

企業等



法人税に
おける
損金算入

分野希望
寄附

一般
寄附

団体希望
寄附

19の分野などから
希望できます

基金登録団体から
希望できます

埼玉県NPO基金への寄附方法
3つの方法からお選びいただけます。

◆感謝状・協力証の贈呈◆

個人で10万円、団体で50万円以上で知事から
感謝状、個人・団体を問わず、
1万円以上で協力証を
贈呈いたします。

埼玉県立近代美術館所蔵の
名画をデザインした協力証です。



◆ネーミング事業◆

個人・団体を問わず、分野希望寄附への寄附金額が
50万円以上の場合、県の実施する助成事業の愛称を
つけていただけます。(要申込)

◆バナー広告掲載◆

寄附金額が団体で50万円以上の場合、ホームページ
「埼玉県NPO情報ステーション(NPOコバトンびん)」にバナー広告を掲載いただけます。(要申込)

埼玉県NPO基金の状況やNPO活動など
NPOに関する情報が満載のホームページ



埼玉県NPO情報ステーション

NPOコバトンびん

<http://www.saitamaken-npo.net/>

コバトンびん

検索

県内のNPO活動や共助の取組に関する
様々な情報をfacebookで発信中!

シェア大歓迎!

Saitama共助Style

<http://www.facebook.com/saitama.kyojo.style>

saitama 共助

検索



埼玉県マスコット
さいたまっち

お問い合わせ先

埼玉県 県民生活部

共助社会づくり課

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1 (埼玉県庁 第三庁舎3階)

電話: 048-830-2828

FAX: 048-830-4751